

茨城県都市統計事務協議会について

暑い夏も終り、事業所統計調査も済んで、「ほっと」したところ、県より「統計いばらき」に茨城県都市統計事務協議会の活動内容や感想、意見等を県内市町村に紹介したいという原稿の依頼があったのである。

都市統計事務協議会について紹介するには、初代会長市であり、発足当時より中心になりこの会を運営してきた水戸市より紹介してもらうことが良いのではないかと思ったのであるが、昨年1年間会長市を務めた水海道市の感想、意見等を紹介するとのことであり、また、「統計いばらき」に掲載するのは初めてということで、内容の紹介をしてほしいとのことである。

都市統計事務協議会の歴史的なことについてくわしい資料が手元にないので、簡単な紹介になってしまうが、判る範囲で書いてみたい。

昭和31年4月茨城県内14市(水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、下館市、結城市、竜ヶ崎市、那珂湊市、下妻市、水海道市、常陸太田市、勝田市、高萩市)の統計職員をもって「茨城県統計事務研修会」を組織し、統計知識の研磨、情報の交換、統計の研究等を目的として発足した。事業として過去いくつかの指定統計の結果及び其他の資料を集めて「茨城県都市統計書」を発行することになった。この統計書は県内各都市の内容を比較する統計書として毎年内容を更新して発行していくものである。

発足から数年水戸市が中心となり運営していただいていたが、その後輪番制をとることになり、名称も「茨城県都市統計事務協議会」となった。また北茨城市、笠間市、取手市、岩井市が加わって18市となり、より一層内容とも充実した統計事務協議会となってきた。

現在の都市統計事務協議会の事業としては次のとおりである。統計事務の刷新改善に関する協議並びに県、その他に要望もしくは会員の事務能率の改善と統計思想の向上を図るため、会員の研究発表並びに講習会の開催、先進都市の現地視察、都市統計書の発行等を行う。上記のとおり会員の研究を行う定例会、特定項目について研修を行う統計事務研修会などがあるが、二大事業としての先進都市の現地視察と都市統計書の発行が会長市として重要な役割であり仕事である。

昭和55年度先進都市視察は、11月26日～11月28日に実施した。目的地は滋賀県彦根市と奈良県奈良市で、参加市は15市総数16名であった。視察に際し彦根、奈良の両市に文書、電話による視察の依頼をしてあったが、当日ははたして満足な視察研修ができるかどうか不安であった。

私が初めて視察研修に参加したのは、統計係にきてから

2日目、昭和54年で兵庫県赤穂市、徳島県徳島市であった。前会長市の手配がゆき届いており、二市とも歓迎をうけずばらしい視察研修であったので、今回の視察研修もすばらしい視察研修にしたいと考えながら出発したのである。最初の視察地は新幹線の都合により短時間の視察研修であった。彦根市の職員の方も時間があれば史跡を案内したいと、マイクロバスの手配をしていたということでひじょうに残念であった。次の視察地は観光地として有名な奈良市である。奈良市では視察研修も予定どおりであった。参加市職員の質問に対し詳細な回答を受け、奈良市の統計事務を理解することができたのである。研修終了後史跡の案内、宿泊施設まで送っていただくという丁寧な接待をうけ、感謝の気持ちでいっぱいであった。このような有意義先進都市視察で残念なことは、18市全市が参加できないことである。各市の事情があるのでやむをえないと思うのだが……。

次に都市統計書の発行について書いてみよう。前に述べたとおり昭和31年から発行しており昭和55年版は丁度25周年である。初版当時の統計書を開いてみると各市の市長、議長そして市役所庁舎が写真で紹介されており、項後半には各市の観光案内がやはり写真入りで紹介されている。それから何年か観光案内の項があり、表紙の図案も年々工夫をこらしてあった。現在内容は統計資料だけであり表紙は茨城県の花の「バラ」とその下に各市のシンボルマークを配したもので統一されており、都市統計書にふさわしい表紙になっている。

都市統計書を作成するには各市よりの資料、そして県より収集した資料等により編集する。実際に編集してみると、簡単な作業ではなく今までもこのようにして編集してきたのかと思うと、配布されたものをなにげなく受けとりあまり活用しなかったことを申しわけないような気持ちである。統計調査結果も現在はより多くの正確なデータが得られるようになり、統計書もより一層充実したものとなりその活用範囲も拡大していくものと思うのである。

茨城県都市統計事務協議会が現在このように運営できることは、会長市を務めてくれた各市の努力があったからこそである。これからも18市がこれまで以上に協力しこの会を発展させていかなければならないと思うのである。

おわりにこの会を運営するにあたり一年間幹事を務めていただいた四市のみなさんをはじめとする各市の協力により会長市を無事運営できたことを紙面をおかりしてお礼申し上げそして次期会長の常陸太田市におおいに期待したい。

(水海道市経済部商工課統計係 坂巻富美夫)